事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 平成 31年 2 月 9日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		0		同時刻に指導員の数の受入なので時間帯 や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わ せてスペースを作りを行っているが、適切であ るかと言われたらわからない。
	2	職員の配置数は適切であるか		0		マンツーマンの配置をとっているが、職員の体調不良や用事などで対応できる余裕があるかと考えると、どちらともいえない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか		0		
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0			PDCA サイクルとして明確に動いていない 場合も多いので、広く職員同士意識できる ように明文化していく。
業務改善	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか		0		今回のアンケートをもとにすぐに改善できる ものと段階が必要なものとに分類化し、業 務改善につなげる。
	9	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか		0		事業所内で評価結果を周知するとともに、 評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか		0		第三者評価は現在行っていない。今後必 要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0			会社の発達支援研究所が職員の資質向 上のための初任者研修・定例研修を実施 している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	0			受付シートに記入してもらった後、聞き取り にてアセスメントを行い、体験・支援計画作 成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか		0		アセスメントシートや NC プログラムは使用しているが、今後もっと勉強していきたい。
	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	0			児発管と担当指導員、必要に応じて他の 指導員のアドバイスを得て支援プログラムを 立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0			日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしている。

	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0		平日・休日関係なく 45 分療育、15 分 振り返りの 1 時間の支援なので、大きく課 題を変えることはないが、定期テストなどこど もの状況に応じて配慮する場合はある。
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	0		個別療育であるが、集団につながるための SST なども実施、こどもの状況に応じて不 定期に行っている小集団の SST に参加し てもらっている。
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	0		朝一番に支援が入っているため、適宜ミーティングを行い、確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	0		適宜ミーティングを行い、情報共有を行っている。。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	0		日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	0		日々の振り返りに加え、定期的にモニタリン グで支援計画について見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	0		こどもや保護者のニーズと職員のニーズを照らし合わせ、将来を見据えてこどもにとって良いと思われる支援を考え、複数組み合わせて支援を行っている。
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	0		体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。
関や保護	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	0		
者 と の	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		0	必要に応じて、連絡体制を整えていきた い。
連携関係	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		0	連携の姿勢はあるが実施できていない。家 族や相談支援機関とうまく連携して実施し ていきたい。
機関や	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか		0	連携の姿勢はあるが実施できていない。家 族や相談支援機関とうまく連携して実施し ていきたい。
保護者と	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		0	連携の姿勢はあるが実施できていない。家 族や相談支援機関とうまく連携して実施し ていきたい。
					•

の連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			0	個別支援で外部に出ることがないため、交 流する機会がない。要望があれば考えてい きたい。
	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか			0	参加できていないので、参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか	0			日々の振り返りの中で共通理解を持っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか		0		家族へのアドバイスや相談に乗ることはある が家族支援プログラムとして明確には行って いないため、今後勉強していきたい。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	0			契約時に丁寧に説明している。
者への説	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0			日々の振り返りやモニタリング時、必要に応 じて時間を取って保護者の相談に応じてい る。
明責任等	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			0	保護者会など現在行っていないが、要望が あれば茶話会など気軽に話ができる場を設 けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0			迅速に対応している。
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか	0			会報は発行していないが、毎月ブログにて 活動内容や行事予定を配信している。しか し、周知されていないため、事業所内に掲 示していくなど工夫していきたい。
	35)	個人情報に十分注意しているか	0			鍵のかかる書庫にて管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	0			
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			0	地域の方が参加できるようなイベントは実施 していないが、問い合わせがあれば考えてい きたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか			0	いろいろな事案に対する訓練も月に1回程度で行っているが、各種マニュアルは準備できていないため周知できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	0			非常災害に対する定期的な訓練を行っている。

40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	0		1年に1回以上研修を行っている。
41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0		運営規程や身体拘束についても重要事項 説明書に明記し、該当する児童がいれば 対応していく体制を整えている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか		0	保護者からの情報で対応している。今後医師の指示書の提出もお願いしていきたい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか		0	その都度改善策も含め話し合いを行っているが、共通の様式を作成していないため、今後作成し共有していきたい。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表: 平成 31年2月9日

 事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校
 保護者等数(児童数) 29 (36) 回収数 22

 割合 76%

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か	20		2	手狭な印象。パーテーションのおかげで勉強に集中できると思う。
塚境・ 体制 整備	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3		職員が変わるのが期間が短い。最低一年はいてほしい。職員の専門性については把握していない。職員の専門については契約時に説明したり、要望があれば事業所に掲示もしていきたい。
ИН	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか	10	11	1	入口の扉がかたく子どもが手を挟んだ。駐 車場が少ない。
適切な	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか	20	2		
支援	5	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されている か	20	2		
の提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	11	4	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか	19	3		
保護	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	5	1	
者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か	3	8	10	個別で学習支援のため保護者とのかかわりがない。進路の参考に話ができればよい。こどもの支援をお願いしているので、保護者の連携はどちらでもよい。要望があれば、茶話会など気軽に話せる場を設けていきたい。
	(1)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	6		フィードバックの時間で、当日の様子を教えてくれたり、親も困りごとなど相談を聞いてもらい、ありがたいと思う。まだこまったことがない。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	2		学習支援という面では、テストの点数や提出物が出せるかどうかという点では、もう少し 連携が必要だと思う。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	7	1	行事予定の連絡はあるが、ホームページは は見ないので。
	14)	個人情報に十分注意しているか	20	2		
非常時	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて いるか	8	11	3	訓練に参加したことがない。やっているのかもしれないがわからない。
等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	13	5	やっているのかもしれないが、わからない。月 一度防災訓練を実施しているが周知されて いないため実施の報告など事業所内にも掲 示して周知していただけるようにしていきたい。
満足	17)	子どもは通所を楽しみにしているか	22			
度	18	事業所の支援に満足しているか	19	3		もう少し時間を長くしてほしい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。